

石 財 政 第 6 2 号
令和4年10月14日

各 部 局 長 様

財 政 部 長

令和5年度予算編成方針について

令和5年度予算編成方針を別紙のとおり定めましたので、各部局におかれましては内容を十分にご理解頂くとともに、予算編成に係る各種作業について遺漏の無いようよろしくお願い致します。

(財政課財政担当)

令和5年度 予算編成方針

令和 4年10月
財 政 部

目次

骨格予算の編成	P1
予算編成の基本方針	P2
財政収支見通し(仮置き)	P8
予算編成スケジュール	P9

骨格予算の編成

令和5年は市長・市議会議員選挙の年であるため、予算編成においては、經常的経費や継続的な事業を中心とする「骨格予算」とする。

例) 義務的経費、施設の維持管理経費、債務負担行為済の経費 など

政策的経費は、前年度からの継続事業を除き、基本的に当初予算の計上を留保し、選挙後の補正予算にて「肉付け予算」の編成を行う。

予算編成の基本方針

(1) 予算編成の基本的な考え方

(2) 各部局からの予算要求について

(3) 「総合計画」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「強靱化計画」の推進

(4) 「財政運営指針(第2期)」に基づく財政規律の遵守

(5) 協議・調整プロセスの重点化及び明確化

(6) 時代の変化に応じた財源・資源の掘り起こしの徹底

(1) 予算編成の基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症や不安定な世界情勢により、市民の暮らしや企業活動に様々な影響が及ぶなか、直面する課題に対し、地域の実情に応じたきめ細やかな対応に努めることで、持続可能なまちづくりを推進する。

「新型コロナウイルス感染症対策」及び「物価・原油価格高騰対策」に係る事業は「政策予算」扱いとし、国や道の施策と連動を図り、効果的な取組となるよう、編成過程において庁内全体の事業内容を精査する。

石狩市は「ゼロカーボンシティ」を宣言した「脱炭素先行地域」であることを職員一人ひとりが意識し、CO²排出量実質ゼロの実現に向けた取組を推進する。

(2) 各部局からの予算要求について

「枠配分方式」による各部局長のマネジメントの下、全ての事業を客観的なデータ・根拠に基づき、事業内容や必要性、効果等を評価・検証すること。

新型コロナウイルス感染症や物価・原油価格高騰等の状況を踏まえ、市民生活や経済活動を下支えするため、既存事業内容の見直しを含め、状況の変化に適切に対応した予算要求に努めること。

物価・原油価格高騰の影響による光熱水費や委託料の増加経費は、必要額を適切に見積もったうえ、通常分と増加分を分けて予算要求すること。

新規ソフト事業の予算要求にあたっては、特定財源の確保を基本とする。なお、特定財源を見込めない単独事業は、既存事業の見直し等により財源を捻出した上で予算要求すること。

(3) 「総合計画」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「強靱化計画」の推進

「第5期総合計画」に掲げる「まちの将来像(2045年)」の実現に向けた戦略目標に資する事業を推進する。

「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標や施策の実現に向けた事業の具体化を図る。

「石狩市強靱化計画」に基づく施策を総合的かつ計画的に推進し、災害に強いまちづくりの実現を図る。

(4) 「財政運営指針(第2期)」に基づく財政規律の遵守

「財政運営指針」(第2期: R4 ~ R8)に基づく財政規律の遵守に努める。

将来世代へ過度な負担を残さないため、中長期的な視点に立ち、市債発行の適正化と市債残高の縮減を図る。

(5) 協議・調整プロセスの重点化及び明確化

様々な地域課題の解決に向けて、市民団体や企業等との協働を推進する。

国内外の急激な環境変化に伴って社会的課題が複雑化する状況を踏まえ、部局間連携が求められる課題に対しては、関係部局間で十分な協議・調整を行う。

多様化する行政課題に対し、市役所内の協議はもとより、実際の事業に関わる関係者(ステークホルダー)の声を的確に把握し、複眼的な検討を行う。

協議・調整プロセス(経緯・経過)を明確化し(議会議論も含む)、議論の熟度を高めた上で予算要求を行うことを徹底する。

(6) 時代の変化に応じた財源・資源の掘り起こしの徹底

「デジタル変革・DX」、「グリーン化・GX」、「脱炭素」、「防災・減災」、「国土強靱化」、「人への投資」など、国が優先して実施する施策を含め、より有利な特定財源の確保に努めること。

国や道の関連通知・ホームページや官庁速報(iJAMP)等を活用し、制度改正や補助事業等の情報の捕捉に努めること。

ふるさと納税や企業版ふるさと納税の受け入れ拡大、またはクラウドファンディング等の民間活力獲得につながるような、魅力ある事業構築を検討すること。

これまで石狩市と民間企業の間で締結した連携協定を活用した事業の構築を推進すること。【主な実績】道の駅で血管年齢測定会(明治安田生命保険相互会社)、体重測定会に栄養食品提供(大塚製薬株式会社)、フィールドグッドフェス出店・ごみ袋提供(第一生命保険株式会社)など

財政収支見通し(仮置き)

(単位:百万円)

歳入				歳出			
項目	R5見込	R4見込	増減	項目	R5見込	R4見込	増減
市税	9,100	9,052	48	人件費	4,053	4,128	75
地方譲与税・交付金	2,224	2,191	33	公債費	2,954	2,878	76
地方交付税	7,616	7,555	61	扶助費	7,600	7,385	215
臨時財政対策債	201	275	74	特別会計支出金	2,915	2,911	4
前年度繰越金	1	311	310	一部事務組合負担金	1,527	1,524	3
財政調整基金取崩	0	400	400	基金積立金	2,034	2,034	0
その他一般財源	72	123	51	投資的経費	1,760	2,440	680
特定財源	13,853	14,965	1,112	その他経常経費等	10,524	11,572	1,048
うち市債	1,757	2,397	640	合計	33,367	34,872	1,505
合計	33,067	34,872	1,805	-	300	0	300

R5見込、R4見込に新型コロナウイルス関連経費は含まれていない。
骨格・肉付け合わせた収支見通し。

予算編成スケジュール

令和4年	11月11日(金) 11月下旬 11月下旬～ 12月中旬～	予算要求書提出期限(経常・政策いずれも) 第1回市長ヒアリング(概要説明) 財政課ヒアリング 財政部長ヒアリング
令和5年	1月上旬 1月下旬 2月上旬 2月上旬	第2回市長ヒアリング(予算査定) 地財計画、最終調整 予算案内示、予算案確定 報道発表